

**ガリバー復興支援活動**  
**中古車 100 台の提供先、65 団体が決定**  
 ～申し込み多数により、200 台に拡大～

2011年3月11日に発生した東日本大震災により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

株式会社ガリバーインターナショナル(本社:東京都千代田区、代表取締役会長:羽鳥兼市、以下ガリバー)は、被災地の復興に役立てていただくための支援団体への提供車両 100 台※について、提供先の 65 団体が決定したことをご報告いたします。

また、支援活動が進むにつれ、数多くの要望をいただいておりますので、提供車両を新たに 100 台追加することを決定いたしました。

被災地の一日も早い復興を心より祈念するとともに、ガリバーは全社を挙げて支援してまいります。

※ 復興支援活動としてガリバーは合計 1,000 台の中古車を被災地に提供します。内訳は、当初 100 台とした NPO など支援団体への提供を 200 台に拡大、800 台を各地域の災害対策本部に提供します。

■ 主な提供先

団体名	主な活動内容	主な活動地域
国際交流 NGO ピースポート	人員・貨物輸送	石巻市
国際 NGO 法人 ピースウィンズジャパン	貨物輸送	気仙沼市、南三陸町、 陸前高田市、大船渡市
NPO 法人ケアセンター やわらぎ	支援物資ピストン輸送	南三陸町、気仙沼市、石巻市
東京災害ボランティアネットワーク	人員・貨物輸送	南三陸町、登米市



宮城県石巻市にて支援物資を積み込む様子 (国際交流 NGO ピースポート)

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社ガリバーインターナショナル  
 東京都千代田区丸の内 2-7-3 東京ビル 25 階  
 広報部  
 TEL:03-5208-5501 FAX:03-5208-5511  
 MAIL:pr@glv.co.jp

## ■ 支援団体へ100台提供の概要

今回の震災による被災地の復興に役立てていただくために、車両(中古車)1,000台を提供すべく各地域の災害対策本部と車両提供の調整を行ってまいりました。その中で震災直後から支援活動を行っているNPOなどの支援団体にも車両の必要性が判明しました。

そこで、1,000台のうちの100台をそうした団体に貸与することも新たな支援方針とし、「要望の受付」「車のニーズ(どのように車が必要とされているか)」「車の使い方のアイデア」を、ツイッターを活用したウェブサイトにて募集してまいりました。(施策名「ガリバータッグプロジェクト」)

## ■ 「ガリバータッグプロジェクト」への参加方法

URL (<http://www.bla.bo/>)

\*PC サイトからのみ投稿が可能です。

\*投稿に際しては、ツイッターアカウント及び Blabo! (ブラボ) への登録(無料)が必要となります。

\* Blabo! 会員 ID でログインしてください。参加要項をご確認いただき、ご同意の上、必要事項を入力してください。

ガリバータッグプロジェクト TOP   メッセージ   ブリーフ   車両を必要とする団体様へ

# ガリバー×タッグプロジェクト

被災地支援、車100台の使い道、あなたと決める。

TAG PROJECT

supported by Gulliver

オープン会議室

テーマ1  
求む! 被災地、車のニーズ  
みなさん、車がどのように必要とされているか、ご存知の情報教えてください。  
また、支援活動で車が足りずお困りの団体の方、ニーズを教えてください。

会議室へGO!

テーマ2  
求む! 被災地、車の使い道アイデア  
どんな使い方をしたら、被災者が助かるか、喜ぶか。いまだからこそ、頭を柔軟にアイデアを出し合いましょう。すぐにできないアイデアでも歓迎です!

会議室へGO!

タグプロジェクト  
**TAG PROJECT**  
詳しくは ▶

468   👍 134  
Tweet   いいね!

## ■ガリバータッグプロジェクトを通じて実現した取り組み

### □投稿されたアイデア例

子どもたちのための移動教室  
 移動図書館  
 カーシェアリング  
 車内を個室として利用 など

### □投稿されたニーズ例

被災地の幼稚園の送迎車  
 美容師やマッサージボランティアの搬送、物資輸送のための車  
 大規模避難所から小規模避難所へ食材を運ぶコンパクトカー  
 避難所から他県への患者の搬送 など

### □ニーズとアイデアで実現した投稿内容

ニーズ	長期間の避難所生活では体を自由に動かすことが出来ず、体が凝り固まっているという現状がある。被災地の方にヨガで体を動かしてもらいマッサージを行いたいが、現地へ行く車がないので使いたい。(都内のヨガ・マッサージのインストラクター)
アイデア	被災地には行けないけど応援メッセージだけでも届けたい人がいるのでは。被災地に送る車に書き込んでみてはどうか。

### □実現した方法

被災地復興への想い(メッセージ)をサイト上で募集し提供車に代筆する。その提供車をヨガ・マッサージのインストラクターが乗り込み、現地の避難所へ向かい支援活動を行う。

活動情報: 宮城県亘理郡の避難所にてヨガ・マッサージを実施(5月7日~8日)

## ■ 活動風景



・募集したメッセージを記入(5月5日東京都内)



・避難所にてヨガとマッサージを実施(5月7日)